|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **会場名** | | **サブリーダー**  **役職　　　　　　　　　氏名** | |
| 国際会議場 | 12階　1202 | 財団委員会委員長 | 新堂博 |
|  |  | ポリオプラス小委員会委員長 | 川上克己 |
| **リーダー　役職・氏名** | | 資金推進小委員会次年度委員長 | 川上哲司 |
| 立野純三 | パストガバナー | 資金管理小委員会次年度委員長 | 西垣浩 |
|  |  | 奨学金小委員会委員 | 糸野慎一郎 |
| **議事録作成者** | 新堂博 | | |

|  |
| --- |
| 開会：（　１５　　時　　３５　　分） |
| 発表者：立野　純三　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（　１５時　４０分　） |
| 【記録内容】  冒頭の挨拶   1. 公益財団法人ロータリー日本財団について（協力財団設立の目的） 2. 公益財団法人ロータリー日本財団の歴史 3. 公益目的事業　グローバル補助金奨学金　ロータリー平和フェローシップ   .　国際ロータリーのロータリー財団への支援   1. 過去５年間の奨学金金額及び件数 2. 過去５年間の国際ロータリー財団への寄付、寄付総額、件数それに伴う寄付控除の説明 |
| 発表者：新堂博　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（　１５　時　５０分） |
| 【記録内容】  **「ロータリー財団と補助金について」**  ロータリー章典に定められた「定義」および「使命」について  ロータリー財団の5つの小委員会　ポリオプラス、資金推進、資金管理、補助金、奨学金各小委員会の活動内容について説明。  年次目標、ロータリー財団補助金の種類、地区補助金とグローバル補助金、  地区補助金の申請スケジュール及びシェアシステムについて解説。  吉川健之ガバナー年度の施策 |
| 発表者：川上克己　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（　１６　時　００分） |
| 【内容】  **ロータリーとポリオ**  ロータリーの最優先項目はポリオの根絶  ポリオとは何か。ポリオ根絶のための基礎知識  ポリオを根絶する理由  ポリオが世界から根絶されれば、天然痘に続いて2番目に根絶される疾病となり、  歴史上で最も偉大な公共保健での達成の一つとなる。  予防法がある以上根絶は可能！そのためには多くの資金が必要、非常在国（根絶された地域）においても再発症を防ぐため大規模な予防接種・監視（サーベイランス）の継続が必要で、そのための従事者（ポリオワーカー）、交通手段、研修、経口ワクチン・不活化ワクチンの必要性が求められる。  ポリオ根絶の為にやるべき事は、認識の向上　情報を発信　イベントを実施　政府への働きかけ。  ポリオプラス寄付に一人当たり＄５０以上の寄付への理解頂き、ポリオプラス寄付クラブをゼログラブをゼロに。  PHSポリオプラスソサエテイ入会方法  10月24日世界ポリオデーにちなんで、日本各地の地区及びクラブに「日本POLIO-DAY」に因んだ  イベントの開催依頼。 |
| 発表者：川上　哲司　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（　１６　時　１５　分） |
| 【内容】  **財団寄付と認証について**  ・財団寄付の地区目標  年次基金寄付 → 会員１人当たり 年間 １５０ドル 以上。  ３年間運用された後、使用される。  前年度の寄付実績が地区補助金の配分率に反映される。  年次基金寄付は一人当たり150ドルを達成クラブには基本補助金を100％支出。  150ドル未達成のクラブには寄付金額に応じて補助金額を10%～20%を減額。  ・財団寄付の認証  ポールハリスフェロー、ベネフアクター、メジャードナー  ポール・ハリス・ソサエティ（PHS）入会方法  毎年 1,000 ドル以上のご支援を誓約下さる個人の認証制度の紹介。  ・財団寄付の方法と優遇措置 |
| 発表者：西垣浩　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（　１６　時　３０　　分） |
| 【内容】  **財団補助金の管理について**  財団補助金は、皆様から頂いた寄付金（年次基金寄付・恒久基金寄付）を原資とした、  会員各位からの「浄財」といえるがゆえに、一定の「ルール」に基づき行う必要性ある。  「授与と受諾の条件」と「財団補助金申請ハンドブック」の熟読  地区補助金の活用における必要最低限のルール14項目について解説。  ロータリー会員による直接調達であること、継続的支援の禁止、報告書の提出など。  中間団体経由によるロス防止、特定の受益者に偏らないこと、惰性化・既得化の防止  透明性を高めチェック可能となるように。  補助金受領前～最終報告に至るまでのチエックリストの活用  （受領前・受領時・補助金事業の開始～終了）  「授与と受諾の条件」と「財団補助金申請ハンドブック」必ず、バイブルとして活用を  促す。 |
| 発表者：糸野慎一郎　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（　１６　時　４５　分） |
| 【内容】  **財団奨学金について**  ロータリー財団の奨学金プログラムはグローバル奨学生と平和フェローがある。  ・グローバル奨学金奨学生　奨学生候補者の選考方法を説明  応募資格（①応募資格は当地区内に在住･在学･在職または本籍(日本国籍か永住権)があること、②学士号を保有していること、③海外大学院への留学が目的で7重点分野のいずれかに該当する文約を専攻すること）他、要件を解説。  ・平和フェローシップ  平和の構築に向けた平和活動家のための奨学金プログラム。（世界8大学に大学で履修）  これまで全世界で1400人の実績あり当地区からは2名を過去に排出している。  併せて、奨学生候補者の選考方法及び選考条件を説明し、問い合わせがあった場合、奨学金小委  員会まで連絡する旨のお願い。  国際機関で活動する、過去のグローバル補助金奨学生、及び平和フェローの近況報告  ２０２５-２６年度グローバル奨学生候補者（２６-２７年度派遣）のスポンサークラブとして  自クラブで検討される事を要請。  2024-25年度グローバル奨学生に選出された、三池桃那（みいけ　ももな）氏の  PRビデオ視聴 |
| 閉会（１７時　３分） |